

効果検証

●地方創生拠点整備交付金について

目的：地方創生拠点整備交付金は、地方版総合戦略に基づく自主的・主体的な地域づくりなどの事業について、地方の事情を尊重しながら施設整備等の取組を進めることを目的として創設されたものであり、補助率は1／2である。

なお本交付金を活用した事業については、事業の目標となる指標（KPI）をあらかじめ定め、事業終了後には事業の達成度や成果について検証することが求められており、検証に際しては外部有識者等で構成される検証機関により客観的に評価を行うこととされている。

また、その結果については公表するとともに国への報告をおこなうものとされている。

●板野町総合戦略評価委員の評価について

委員の評価	A
-------	---

効果検証

● KPIについて

主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					備考
		H27	H28	H29	H30	H31	
【KPI】 ○保育園入所者数と地域子育て支援センター利用者の内給食利用者数(日単位)：245食	計画値			-	-	225食	参考値：平成30年 現在：246食
	実績値			-	246食		
【KPI】 ○未就学児童の増加者数：45人	計画値			-	-	41人	参考値：平成30年 現在：51人
	実績値			-	51人		
【KPI】 ○未就学児童世帯員の増加者数：122人以上	計画値			-	-	110人	参考値：平成30年 現在：124人
	実績値			-	124人		

● 自己評価について

【自己評価の基準】

実施した事業がKPIを達成するために有効であったかどうかについて評価

- A**：極めて効果的であった
- B：十分効果的であった
- C：効果的であるが、事業の見直しが必要
- D：効果がみられず、事業の統合・休廃止の検討が必要

地方創生拠点整備事業の概要

●板野町子育て支援拠点整備事業について

目的：幼稚園及び保育園の第1子からの無償化等の子育て支援が浸透している中、平成30年4月に板野保育園の統合、また同一施設内の子育て支援センター利用者において給食提供のない親子に対し給食を提供すること等で、更なる子育て支援の充実を図るため、地方創生拠点整備交付金を活用し調理室を新たに建設。
また当該施設は避難所指定しており、発災時には避難者及び保育園に密集している町営住宅等の在宅避難者の炊き出しの拠点として調理室を利用する。

施設面積：175.5m²

事業費：109,867,440円

充当財源：【地方創生拠点整備交付金】

49,900,000円

【一般補助施設整備事業債】

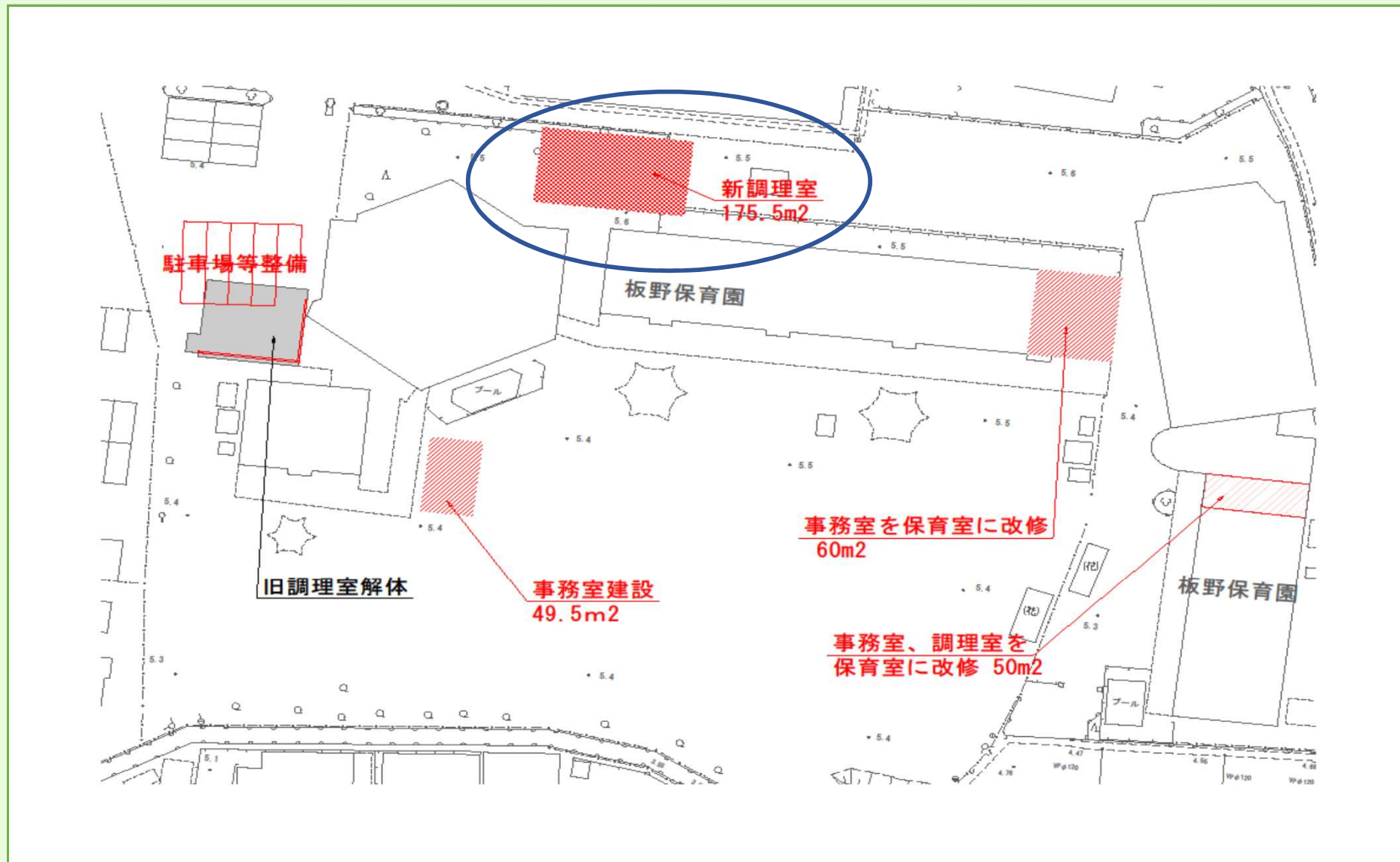
44,900,000円

【一般財源】

15,067,440円

地方創生拠点整備事業

●板野町子育て支援拠点整備事業の施設配置



外 観



内 観



内 観

